

事業設計・調査・システム開発事業

## 『本宮駅周辺拠点施設整備事業実現化の事業設計・調査事業』

### ○ 実施団体

株式会社 Mot. Comもとみや

所在地：本宮町字南町裡26-11

代表者：代表取締役 佐々木嘉宏

総事業費：4,243千円

助成額：3,415千円



### ○ 事業の目的

TMO構想に掲げた中の主要事業である「JR本宮駅周辺拠点施設整備」の実現化に向け、関係者の合意形成のための基礎的計画の検討・調査を目的とする。

特に、公共が行う駅前広場整備や東西跨線橋等の将来構想を踏まえ、拠点施設の概略計画、利用方法、周辺商店街におけるTMO事業への関与方法等、ソフト面も含めた「計画の実効性」を検証し、今後の円滑な事業推進を目指すことを目的とした。

### ○ 事業の内容及び方法

商店街関係者・行政・学識経験者等で組織した「本宮駅周辺拠点施設整備事業設計協議会」を設置し、延べ27回の会議を開催し、下記の項目について検討作業を行った他、2回にわたる地元との意見交換会、当社役員等を含めた先進地（山形県新庄市、他）の視察を行い、これらを基にして事業実現化のための報告書として取りまとめた。

#### ■ 主な検討項目

- ① 本宮駅周辺区域内の課題確認
- ② 拠点施設整備計画の目標設定

- ③ 本宮駅周辺区域の全体機能構成設定
- ④ 拠点施設の導入機能検討
- ⑤ 事業主体者（旅行、所有、管理運営）とその他事業主体の検討
- ⑥ 施設の基本計画と事業費算定、資金計画立案
- ⑦ 建物取得主体別概算収支計画立案

### ○ 事業を実施したことによる効果

本事業は、TMO構想の中の最重点事業に掲げているもので、都市計画決定はされているものの長年の懸案となっている駅前広場等、公共の事業に先駆け、駅周辺の整備につ



いて「民間として考えられること、民間ができること」を前提として取組んだことから、今回取りまとめた事業内容についてはほぼ地元の理解が得られ、また、検討素案の段階から町に対する説明と協議を行ってきたことから、事業実現化を地元・行政・関係者の共通認識とすることができた。

特に、町の関係課からなる企画調整委員会と当社で事業化連絡会を設置し、今後毎月1回程度、本事業で取りまとめた報告書をたたき台として、実現に向けた協議を定期的に行うことになった。

### ○ 代表者の談話

JR本宮駅前や、その周辺整備は町民や行政の長年の願望・課題であり、過去幾度となく整備計画等の策定が行われてきましたが実現には至っていません。

その要因は幾つか挙げられますが、TMO



としての当社の役割は、中心市街地活性化のため、民間としてできることを、民間として考え、実行に移すことで、今回も計画として取りまとめたものを、いかに実現させるかが課題であると受け止めております。

幸いにも、今回の計画の実現化に向け、町当局が当社と定期的に協議を持つことになったのは大きな前進であります。

当社は、TMO構想に掲げた事業を年次計画に基づいて着実に進めており、過去には商店街リノベーション事業などのハード事業に取り組んだことなどから、これらの経験を生かしながら、今回の計画の実現化に向けて邁進していきたいと考えております。

### ○ 今後の活動予定

今回の事業計画実現に向け、町と当社による定期的な協議を行う。この中で、今回計画の支援事業として想定している「まちづくり交付金事業」、これに係る民都開発機構の「まち再生出資業務」などについて研究し、これらとの整合性を図りながら事業スケジュールや事業主体等の詳細について、今年度末を目途に定めていく予定。

特に、まちづくり交付金事業等の研究に際しては、今回計画に併せ、公共事業として想定されるJR跨線橋（東西自由通路）や、駅裏広場のあり方などについても調査していく予定としている。

